



文連委員長・神原は呼びかけます

## 今夏・今秋期、対面でのサークル活動と企画を盛大に実現し、 早稲田サークル文化の創造的な発展を切り拓こう！

7・6 前期定例文連総会を開催します



文連委員長・神原君

すべてのサークル員のみなさん！ 今月21日、私たちはサークルどうしが協力し、一カ月にわたり禁止されていた対面での活動の再開と学生会館等のサークル活動施設の開放をかちとりました。「感染拡大防止」を理由とした学生部による突然の、サークルの個別事情を無視した一方的な活動規制に対して、私たちはただちにサークル間で緊急会合を開いて論議を積み重ね、各サークルから出た意見を要求書にまとめ学生生活課に提出してきました。こうした粘り強い取り組みによって、私たちは現地平を切り拓いてきたのです。

各サークルではいま、中止していた日々の練習や稽古、研究活動などを急速に開始し、また延期していた企画の実現に向けて奮闘していることと思います。みなさん、対面での活動再開をかちとったことにふまえ、今夏・今秋期の文化サークル活動・諸企画をどしどし推し進めていこうではありませんか！ 仲間と共同作業をしたり、先輩から技術を直接受け継ぐことをはじめとして、私たちには7・8月期にやるべきことが山ほどあります。私たちは今夏のオリンピック開催に伴う、都内の感染状況を理由にした学生部のさらなるサークル活動規制を許さず、7・8月期の文化サークル活動を着実に前進させていきましょう！

さらに私たちは、今夏・今秋期のサークル企画をオンラインのみならず対面でも実現していきます！ 現在、対面での活動は学生部により「練習活動のみ」とされ、公演や演奏会、発表会などは全て「オンラインのみ」とされています。しかし早稲田の伝統あるサークルの演劇公演や音楽の演奏会、学術の研究発表などは、オンラインの配信だけではその真価を十分に発揮することができず、表現活動・学術研究を深めることができません。社会的には、各文化団体がそれぞれの感染対策のガイドラインに基づき、「緊急事態宣言」下でも観客を動員して文化活動を活発に継続しています。学生部は早稲田の伝統ある文化サークル活動の意義にふまえ、サークル企画の「オンラインのみ」の措置をぜひとも見直すべきです。

みなさん！ 来る7月6日、文化団体連合会は前期定例文連総会をオンライン上で開催します。以上のことを実現するためには、サークルどうしが横につながり、文連のもとにより一層団結を強化することが必要です。全ての加盟サークル幹事は総会に集まり、今夏・今秋期の早稲田サークル文化の大前進を切り拓くため、活発に討論を行ない、今後の指針を具体的に練り上げましょう。

「早稲田サークル文化を盛り上げよう！ 文連の会」を結成しました！  
早稲田のサークルの伝統を守り発展させるために一緒に考え活動してくれる方を募集中です。上記の文連常任委員会までご連絡ください。